

抄 録

バイオテレメトリーによる松川浦に放流した ホシガレイ稚魚の移動・移出過程の解明

和田敏裕*・神山享一**・三田村啓理***・荒井修亮****

Horizontal movement and emigration of juvenile spotted halibut *Verasper variegatus* released in a shallow brackish lagoon: Matsukawa-ura, northeastern Japan, revealed by acoustic telemetry

Toshihiro WADA, Kyoichi KAMIYMA, Hiromichi MITAMURA and Nobuaki ARAI

Fisheries Science 83 (4), 573-585 (2017)

ホシガレイ稚魚の成育場内での移動や外海への移出過程を解明するため、超音波発信機を腹腔内に装着した 0 歳魚種苗 10 個体（全長 17.0-19.7 cm）を 2009 年 11 月に松川浦中央部に放流し、浦内外の 10 か所に設置した受信機で 5 か月間追跡した。12 月～翌 3 月に 8 個体が放流地点から移動し、うち 3 個体が 1 月および 3 月に浦外に移出した。浦内の稚魚は、12 月～翌 1 月に越冬のため移動を開始するが、水温が最も低い 2 月には移動を休止し、水温が上昇する 3 月（ $\geq 6^{\circ}\text{C}$ ）に移動を再開すると考えられた。稚魚は夜間を中心に徐々に浦内を移動し、外海へ移出した。

* 福島大学環境放射能研究所

** 福島県水産課

*** 京都大学大学院情報学研究科

**** 京都大学フィールド科学教育研究センター